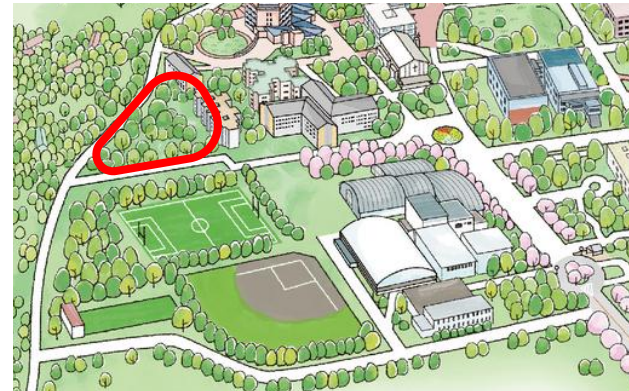




## 1. 雑木林再生プロジェクトとは？

「ICU三鷹キャンパスの森」は、武蔵野の雑木林の面影が残る貴重な森です。動植物のポテンシャルが高く、キンラン等の希少種を含むさまざまな動植物が今も息づいています。しかし近年、樹木の老齢化が進み、倒木やナラ枯れ病の蔓延、外来種の侵入による生物多様性の低下などの問題が起こっています。

そこで、「ICU三鷹キャンパスの森」にかつての若い雑木林を再生させ、武蔵野の原風景である生態系の復活を図ることを目的に、2024年度から本プロジェクトをスタートさせました。グローバルハウスの南側をプロジェクトエリアとし、10年間をかけて雑木林を再生します。

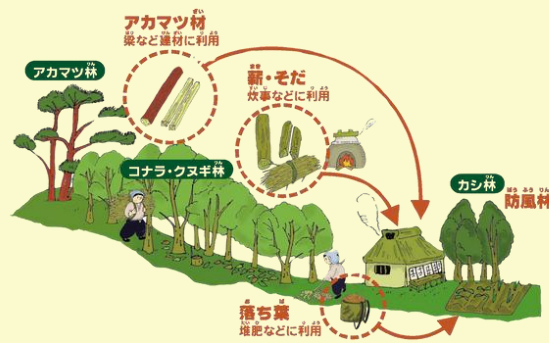


▲プロジェクト対象地（グローバルハウス南側 / グラウンド西側の約4,950㎡）

### ～雑木林とは？～

雑木林は、かつて武蔵野地域に広がり、人の生活と共にあった自然環境です。薪などを得るために木を伐採、田畑の肥料を得るために落葉かきをするなど、継続的に人の手を入れてきました。雑木林の木々は、伐採されても芽を吹いて再生します。この特徴を活かし、20年に1回程伐採を繰り返すことで、継続的な利用が可能になります。木々は放置すると大きくなり、暗い森になりますが、雑木林は人が関わることで、明るい森として維持されます。自然界ではあまり見られない明るい森には、雑木林特有の生きものたちが息づいています。

雑木林は、生物多様性豊かなサステナブルな森なのです。



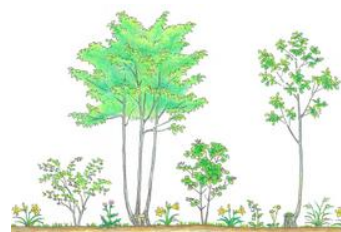
## 2. 「ICU三鷹キャンパスの森」目標像

かつて武蔵野地域に広がっていた、適度に管理の行き届いた15～20年生の若い雑木林を基本に、生物多様性の向上、継続的な保全管理の環境づくり、学内の教育の場としての更なる活用も視野に入れて、目標像を設定しています。

### 短期目標

学内の自然環境再生、教育研究の場としての活用

「ICU三鷹キャンパスの森」が持つ自然環境のポテンシャルを最大限引き出し、多様な動植物が生息・生育できる若い雑木林を再生させます。学生への授業など、学内の教育研究の場としても大きく活用します。



### 中期目標

学外への普及啓発

再生された「ICU三鷹キャンパスの森」の自然環境を、学内だけでなく学外の産官学民さまざまな地域の主体に教育研究の場として共有します。



### 長期目標

学内外協働での継続的な自然環境保全

「ICU三鷹キャンパスの森」が、地域の貴重な財産として認識されるようになります。学内外の多様な主体に関わり、継続的な保全管理がなされ、自然環境が質の高いまま維持されていきます。



## 3. プロジェクト概要

対象エリアの雑木林再生に向け、以下項目の作業を年度ごとに計画し、継続的に実施しています。

1

### 計画づくり

雑木林再生プロジェクトの全体計画策定や「ICU三鷹キャンパスの森」保全活用ガイドラインの策定を実施

2

### 関係各所との連携

雑木林再生計画をもとに、ビジョンを共有し、統一した目標を持って、学内外の多様な主体と連携する

3

### 活動の基盤づくり

雑木林再生の継続的な担い手育成のため、サポーター養成プログラムを実施し、活動の基盤づくりを行う

4

### 普及啓発

計画の目的や手法、成果などの理解を深めるため、掲示物や現場ガイドなどで自然環境の魅力を伝える

5

### 生物調査

雑木林再生の取組成果を評価し、保全活用ガイドライン策定に活かすため、動植物のモニタリングを実施

6

### 保全活動

雑木林再生のため、伐採更新のほか、外来種対策や落ち葉かきなどのきめ細やかな保全管理を実施

## 4. プロジェクトスケジュール

当プロジェクトは約10年間かけて実施するものとし、プロジェクト後に継続的に保全管理ができる仕組みづくりを目指し、年度ごとに目標を定めます。

※「ガイドライン」は、プロジェクト概要欄の「ICU三鷹キャンパスの森」保全活用ガイドラインを指すものとします



2024

・伐採事前調査を含む対象地の現状把握

2025

・伐採更新の成果調査と管理手法の抽出

2026

・ガイドラインの草案作成と試験運用

2027

・ガイドラインの草案作成と試験運用

2028

・全体計画見直し  
・ガイドライン仮完成

2029

・ガイドライン実践運用

2030

・ガイドライン実践運用

2031

・実践運用の成果をガイドラインに反映

2032

・プロジェクト後の人材育成の仕組みづくり

2033

・ガイドライン完成  
・持続的な雑木林管理手法の確立



このプロジェクトを進めるには学内外様々な方の協力が必要です！

## 自然共生サイトとは？

「自然共生サイト」とは、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定する区域のことです。国際基督教大学では、2023年度に「ICU三鷹キャンパスの森」として、「自然共生サイト」の認定を取得しています。

環境省ウェブサイトより引用：https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/



「ICU三鷹キャンパスの森」自然共生サイト登録情報

【お問合せ】

国際基督教大学 三鷹キャンパスの森事務局  
(email: icu-mitaka-campus-no-mori@icu.ac.jp)

【企画 / 運営】

特定非営利活動法人 NPO birth

